

第10回 関西テコンドー選手権大会 兼 第3回 J T A組手&蹴武型団体対抗戦

【1】 名称

第10回関西テコンドー選手権大会 兼 第3回 J T A団体対抗戦
ー第23回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会 出場選手・団体選考会ー

【2】 主催

滋賀県テコンドー連盟 会長 河 明生

【3】 後援

日本テコンドー協会 (J T A)

【4】 目的

- 1, ルールを尊ぶ J T A の試合を通じて健全な精神涵養及び体力増進に貢献する。
- 2, J T A テコンドー愛好家の親睦を目的とする。
- 3, 信義と礼儀を重んじる日本テコンドーを通じた社会教育の意義を高める。
- 4, 組手および型の団体戦の試合出場及び応援、練習過程を通じて J T A 加盟クラブのメンバーの団結と連帯を強化し、J T A 組手団体日本一及び J T A 型日本一の団体を決定することで J T A 加盟クラブ間の良好かつ建設的なライバル意識を涵養する。

5, 第23回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会出場選手最終選考会

1) 一部組手個人戦

①各階級優勝者で蹴美に秀でている選手には全日本大会出場権を与える。
ただし、各種空手やキックボクシングのような組手スタイルの選手が優勝した場合、審議の末、上記の全日本大会出場権を与えない場合があり得る。

②各階級2位～4位の選手で蹴美に秀でている選手には全日本大会に推薦出場させる。

2) 一部蹴武の型

①優勝者には、全日本大会出場権を与える。
全日本大会1回戦で前年度ベスト4とは対戦しないという意味でのシード権を与える。

②2位～4位の選手で蹴美に秀でている選手には全日本大会に推薦出場させる。

3) 少年少女部 蹴武の型

①優勝者には、全日本大会出場権を与える。

②2位～3位の選手で蹴美に秀でている選手には全日本大会に推薦出場させる。

4) 団体戦蹴武の型

①優勝および準優勝チームには全日本大会出場権を与える。

②出場チーム中、蹴美に秀でているチームには全日本大会に推薦出場させる。

注意

①個人戦選拔者・推薦出場者は、10月の昇段を受験し合格していなければならない。
型団体戦は茶帯でも可とする。

②関東圏選手は、重要な組手総見(10月・11月実施)への参加を義務付ける。
不参加の場合、出場権を取り消す場合がある。

- ③本大会は全日本大会最終予選会である。
現在、同じ選手が複数の予選会で優勝しており、その分、推薦枠を増加する。
クラブ・同好会のパイオニアおよびクラブ運営協力者等から推薦出場選手を決定する。

【 5 】 開催日

2012年9月30日（日） 13:15 試合開始

実行委員集合12:00 選手集合12:30 受付・計量・設営12:30

義務教育課程の少年少女部の試合（団体戦参加者含む）を事前に実施し、その表彰式をはやめに行う。
翌日の学業への支障がないよう少年少女部は上記終了後、解散とする。

【 6 】 開催場所

彦根市民体育センター（メインアリーナ）

滋賀県彦根市松原町大黒前3751番7（滋賀県立彦根総合運動場内、彦根城近隣）
TEL（0749）23-2293

JR琵琶湖線「彦根駅」徒歩15分、バス6分

JR東海道新幹線「米原駅」タクシー15分前後

名神高速「彦根IC」より4km、「米原IC」より8km。 無料駐車場有り。

【 7 】 参加資格

一、個人戦（組手、型）

- ①JTA年会費を納めているJTAの有級者（黄帯・7級以上）および有段者。
年会費未納者が参加し入賞した後、発覚した場合、これを取り消し、繰り上げ入賞とする。
- ②健康であり、かつスポーツ安全保険に加入している者。
- ③一部組手および型は、茶帯（含1級審査受験・結果待者）～有段者。
昨年度、男子全日本チャンピオンは出場できない。
ただし、JTA黒帯道衣を着用しなければならない。貸与等は不可。
なお、一部女子部は活性化をはかるため二部組手で優勝経験をする3級以上の者は出場できる。
- ④一部蹴武型は、茶帯（含1級審査受験・結果待者）～有段者。制限無し。
ただし、JTA黒帯道衣を着用しなければならない。貸与等は不可。
- ⑤二部組手は、茶帯～有段者。
または過去の各種大会で入賞経験を有する4級以上の有級者。
- ⑥二部蹴武型は、有級者。制限なし。
- ⑦三部組手は、黄帯～茶帯。制限なし。
- ⑧四部少年部組手は、黄帯～茶帯。制限なし。
- ⑨四部少女部組手は、黄帯～茶帯。制限なし。
- ⑩四部中学生男子組手は、黄帯～茶帯。制限なし。

注意 個人戦組手選手は、青または赤のヘッドギアを用意し、着用しなければならない。
審判の混乱を回避し視界が広い等の不公平を是正するため黒と白のヘッドギアの着用を禁止する。

二、団体戦（組手、型）

1， 団体戦共通

- ①JTA年会費を納めているJTAの有級者（黄帯・7級以上）および有段者。
年会費未納者が参加し入賞した後、発覚した場合、これを取り消し、繰り上げ入賞とする。
- ②健康であり、かつスポーツ安全保険に加入している者。
- ③団体戦は、「**道場」という団体名での参加は許可しない。
サッカーのJリーグ同様、企業名ではなく、郷土愛に根ざした地域密着の地元名を冠すること。
ただし、東京および神奈川以外のクラブは、都道府県連盟で参加できる。
例えば、愛知テコンドー連盟、岡山テコンドー連盟、高知テコンドー連盟、兵庫テコンドー連盟
九州テコンドー連盟等。
なお、型は都道府県連盟名で参加し、組手は各クラブ名での参加も認める。逆も同じ。
- ④参加クラブは、団体戦メンバー表を事前に提出しなければならない。
エントリーした選手が病気等やむを得ない事情で欠場した場合に限り、当日変更を許可する。

⑤団体戦のみの参加であっても、自己責任の原則は同じなので、個人種目出場選手同様、大会参加申請書を提出しなければならない。

2， 組手団体戦

- ①有段者が2名以上のチームはすべて一部とする。
- ②有段者が1名以内のチームはすべて二部とする。
- ③団体戦は、3名でチームを編成し参加できる。
- ④組手団体戦は無差別級で実施する。組手団体戦メンバー表には体重を正確に記さなければならない。
- ⑤組手団体戦の対戦表（トーナメント）は、試合前日の前日計量の際（会場 ホテル芹川）にくじ引きで決定する。該当クラブの責任者が不在の場合は公開の場で大会役員が代理で行う。
- ⑥組手参加団体は、青および赤のヘッドギアを用意し着用しなければならない。
審判の混乱を回避し視界が広い等の不公平を是正するため黒と白のヘッドギアの着用を禁止する。

3， 蹴武型団体戦

- ①有段者が2名以上のチームはすべて一部とする。

- ②有段者が1名以内のチームはすべて二部とする。
- ③型団体戦メンバー表には演武する型を事前に通知しなければならない。
予選の型、決勝戦の型を準備しなければならない。
- ④団体戦は、3名でチームを編成し参加できる。
- ⑤型団体戦は全チームで順に予選を行う。
- ⑥型団体戦は、男女混合、少年少女部混合も可とする。すなわち年齢性別制限なし。

【8】試合種目・表彰

一、組手試合 事故防止のため全試合顔面ガード付き防具を着用する

最優秀選手賞1名 ～ トロフィー

1 一部フルコンタクト・テコンドー組手

- ①軽量級(63kg未満) ～優勝、準優勝、3位：メダルと賞状
- ②中量級(70kg未満) ～ 同上
- ③重量級(70kg以上100kg迄) ～ 同上
- ④女子無差別級 ～ 同上

2 二部 J T A ライトコンタクトテコンドー組手

- ①軽量級(63kg未満) ～優勝、準優勝、3位：メダルと賞状
- ②中量級(70kg未満) ～ 同上
- ③重量級(70kg以上100kg迄) ～ 同上
- ④女子無差別級(胴防具着用) ～ 同上

3 三部 J T A ライトコンタクトテコンドー組手

- ①軽量級(63kg未満) ～ 優勝、準優勝、3位：メダルと賞状
- ②中量級(70kg未満級) ～ 同上
- ③重量級(70kg以上100kg迄) ～ 同上
- ④女子無差別級(胴防具着用) ～ 同上

4 四部 J T A 少年部特別ルール組手

J T A 少年少女部組手特別ルールによる (本部HP参照)。
少年少女部はテコンドー蹴土らしい組手スタイルを望みます。

J T Aが最も力を入れている後横蹴りや飛び後横蹴り、横蹴り、かかと落とし蹴等の限定された蹴り技で競わなければなりません。

フルコンタクト空手やキックボクシング等が得意な回し蹴りは、蹴美とは言えません。

万一の事故を防止するため回し蹴り（後回し蹴りや飛び回し蹴り蹴りも含む）は禁止します。

小学生の階級分けの体重は、申請時の参加希望選手の体重状況により、主催者が判断します。

ワンマッチでも実施しますが、参加選手4名以下の場合は、優勝者のみ表彰します。

- ①少年部乙（小学校低学年1～3年生）～ 優勝、準優勝、3位（1名）：メダルと賞状
- ②少女部乙（小学校低学年1～3年生）～ 同上
- ③少年部甲（小学校高学年4～6年生）～ 同上
- ④少女部甲（小学校高学年4～6年生）～ 同上
- ⑤中学生男子軽量級（50kg未満）～ 同上
- ⑥中学生男子中量級（50kg以上）～ 同上

*少年部・少女部組手の1回戦は、最もエントリー選手中、最も体重差が少ない選手と対戦予定。

*体重差を考慮し、統合する場合があります。

*女子中学生は一般の試合にエントリーして下さい。有段者でも二部または三部に参加できます。

*男子中学生も一部を除き、一般の試合にエントリーできる。ただし、自己責任。保護者許可必要。

二、蹴武型試合（全種目男女混合）

1、一部蹴武の型試合（年齢制限なし。有段者～茶帯）

優勝、準優勝、3位：メダルと賞状

2、二部蹴武の型試合（有級者。年齢制限なし）

優勝、準優勝、3位：メダルと賞状

3、三部少年少女部蹴武の型試合（有級者・有段者）

① 小学生低学年（3年生以下。未就学者可）～ 優勝、準優勝、3位：メダルと賞状

② 小学生高学年（4年生～6年生）～ 優勝、準優勝、3位：メダルと賞状

③ 中学生～ 優勝、準優勝、3位：メダルと賞状

* 組手および型試合はいずれもエントリー選手が

① 6名以下の場合、最も近い級と統合する。

② 7名以下の場合、3位は記録としては残すが表彰しない場合がある。

③ 32名以上の場合、3位決定戦は行わない。3位は2名とする。

三、組手団体戦

1、一部組手団体戦

優勝、準優勝、3位：楯と賞状

2、二部組手団体戦

優勝、準優勝、3位：楯と賞状

注意 女子組手団体戦を希望するチームが複数あれば実施する。
8月3日まで実行委員長宛に連絡してください。

四、蹴武型団体戦

1、一部型団体戦

優勝、準優勝、3位：楯と賞状

2、二部型団体戦

優勝、準優勝、3位：楯と賞状

【9】試合ルール等

一、組手試合ルール

1、試合ルール

①1部 JTAフルコンタクトテコンドー・ルール（蹴美7WILLルール）

②2部、3部 JTAライトコンタクトテコンドー・ルール

2、試合時間、判定基準等

①1部本戦2分1R。

延長戦2分（2R迄）。再延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

②2部・3部本戦2分1R。

延長戦2分（1R迄）。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

③4部少年部本戦1分1R。

延長戦1分（1R迄）。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

④敵点2、又は注意6で「失格」とする。

⑤実力差が著しい場合又は戦意喪失が認められる場合、主審権限により「棄権」を宣告する。

⑥すべての試合は、判定の際、蹴美力の優劣を重視する。

3、その他

本大会は、全日本大フルコンタクトテコンドー選手権大会予選会のため、同大会のルールに準ずる。
ただし、予選会における蹴美審判は1名とする。

二、蹴武の型・試合ルール

①選手は、蹴武の型を自由に選択し、試合を行う。

- ②トーナメント勝ち残り方式とする。
- ③男女混合、有段者・有級者混合とする。よって有段者と有級者とが対戦する場合もある。
- ④3名の審判が、旗（青もしくは赤）を上げて勝者を決定する。旗が多く上がった方を勝者とする。
- ⑤各審判は、引き分けを宣告できる。その場合、延長戦（1回のみ）を行う。
延長戦の場合、審判はいずれかを勝者と認定しなければならない。
選手は、延長戦の場合、蹴武の型を変更できる（同じ型でも可）。

延長戦での変更した型は、成功すれば、判定上、有利になる場合がある。
たとえば、A選手が型を変更し、B選手が同じ型で延長試合を戦ったと仮定する。
いずれも成功し、甲乙つけがたい場合、A選手が2つの型を修得したという事実は、それだけB選手よりも練習をしている（＝努力している）とみなせる。
また、延長戦での複数の型の実演は、失敗するリスクも高いので、それを克服して成功させたという精神性も評価できる。よって、この場合、審判は、A選手を勝者と判定する場合がある。

三、組手団体戦試合ルール

1、試合ルール

- ①1部、2部いずれもJTAライト・フルコンタクトテコンドー・ルールとする。
延長戦1分（1R迄）。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。
- ②無差別級とする。
- ③引分け有りとする。
- ④エントリー選手の全試合を終えた結果、引き分けた場合、代表戦を1試合のみ行う。
- ⑤実力差が著しい場合又は戦意喪失が認められる場合、主審権限により「棄権」を宣告する。
- ⑥すべての試合は、判定の際、蹴美力の優劣を重視する。
- ⑦敵点2、又は注意6で「失格負け」とする。
- ⑧それ例外は、JTAライト・フルコンタクトテコンドー・ルールに準じる。
なお、ルール上、想定していないことが生じた場合、大会会長が裁定する。

2、試合時間、団体戦の勝敗

- ①1部、2部いずれも1分1Rとする。代表戦も同じ。
- ②組手団体戦は、1試合でも多く勝者を出したチームを勝者とする。
例えば、Aチーム3名対Bチーム3名で試合をした場合、
Aチームが1勝2引分けならAチームを勝者とする。
- ③エントリー選手の全試合を終えた結果、すべて引き分けた場合、代表戦を1試合のみ行う。
代表戦が引分けた場合、選手全員の体重を計量し、その総重量が少しでも軽い方を勝者とする。

四、蹴武型団体戦試合ルール

1、試合ルール

- ①蹴武型の個人戦ルールに準じる。
- ②蹴武の型の動作に変更をしてはならない。
例えば、飛び蹴りのない型に飛び蹴りを加えてはならない。
- ③蹴武型団体戦独自の創作的意欲・練習意欲、芸術性を高めるため下記は認める。
イ、メンバー毎の時間差の蹴り・突き・防御は認める
ロ、気合いを増やすことは認める
ハ、メンバーの型動作の方向の不統一は認める
- ④ルール上、想定していないことが生じた場合、大会会長が裁定する。

2、蹴武の型団体戦の勝敗

- ①上位1位～3位を決定し、上位3チームで決勝戦を行う。
- ②次の基準で勝敗を決定する。
イ、蹴武型の団体的蹴美性
ロ、蹴武型の団体的蹴武性
ハ、正確な動作順序
ニ、蹴武型の団体戦独自の創造性および斬新性

【10】大会出場申込

2012（平成24）年9月19日迄（当日消印有効）、

参加費用 1種目 ￥5000

例えば、一部組手のみ。一部組手団体戦のみ。

2種目 ￥7000

例えば、一部組手と一部型。一部組手と一部団体戦等

3種目 ￥8000

例えば、一部組手と一部型団体と一部団体組手等。

なお、1選手が四種目参加（例えば、一部組手、一部型、一部団体組手、一部団体型等）は、
体力の消耗等による事故の危険性が高いので禁止する。

を下記郵便口座へ振込み、

振込みを証明する控え（コピー可）を参加申込書に添付し、下記まで郵送して下さい。

なお、個々人で申請した場合、1回戦から「同クラブ対決」となる場合があります。

1、参加費振込先

〔口座番号〕 00930-8-245518

〔名義〕 滋賀県テコンドー連盟

2、申込書送付先 *大会実行委員長へ直送

〒709-0802

岡山県赤磐郡山陽町桜ヶ丘西4-9-2 妹尾将吾 殿

【11】大会役員

大会会長 河 明生
実行委員長 妹尾将吾 審判部長 吉川 真
審 判 小川浩平、井上鉄朗、古谷知也、朝比奈浩一、飯塚 稔、稲熊 肇、都築晋一
試合進行責任 藤原徳晃、司 会 宮脇伸一郎、阪本和子
救護・医務 岩下 徹 試合進行補助 神谷雅美

【12】注意事項

- ・試合参加のためには、所属クラブ長の許可（申請書にサイン）が必要です。
- ・電話やFAX、試合申込み期限を超えた試合の申込みは受け付けません。
- ・所属クラブ長・責任者に試合参加の意志表示を伝えた場合、棄権しても参加費用は納めて下さい。
- ・理由の如何を問わず一度納入された参加費は返却しません。
- ・試合当日の参加費支払いは一切受け付けません。
- ・各種保険証の現物を持参して下さい。
骨折などの事故がおきた場合、最寄りの救急病院に運び治療を受けることとなりますので、各クラブは病院に付き添う「救急担当者」を予め決めて下さい、
- ・彦根市民体育センターでは、「ゴミの持ち帰り運動」を実施しています。
各支部は「試合会場美化責任者」を決め、弁当やペットボトルなどのゴミを持ち帰ることを義務づけます。また体育館内は禁煙です。
- ・ロッカールームや試合観覧席などでの盗難には十分注意してください。
武道館および大会主催者は一切責任を負いません。

【13】観覧

観覧は無料です。ただし、JTAおよび加盟クラブを除名された者は観覧できません。
大会関係者の指示に従ってください。
ヤジなどの品位の欠ける観覧者は退場していただきます。
体育館・武道館の定める飲食禁止場所での飲食や喫煙、試合会場近隣での違法駐車は禁止します。

【14】前日計量、廉価宿泊先

彦根で一番廉価なホテルです。各自が直接予約して下さい。

ビジネスホテル芹川

彦根市河原町2-8-4（JR彦根駅徒歩13分） 0749-26-2750
無料駐車場完備。試合会場まで徒歩で15分強。車で5分弱。
彦根城まで徒歩10分弱。琵琶湖まで徒歩15分強。

1泊 約2700円（和室4人部屋利用宿泊費）

上記ホテルにて、午後7時より8時までの間、希望者のみ前日計量を行います。

それ以外にも彦根市は観光都市のため試合会場近隣にホテルが多数有ります。各自が直接行って下さい。

第10回関西テコンドー選手権大会兼
第3回JTA団体戦参加申込書大会会長 河 明生殿

私は、下記の事項を誓約します。

- 一、貴大会の大会規約を遵守し、大会関係者の指導、勧告、注意などに従います。
 - 二、貴大会の試合ルールを遵守します。とくに、顔面強打は、絶対行いません。
 - 三、審判の判定に対する絶対性を尊重し、武道家として模範的行動をとることを誓います。
試合後、万一、判定を不服とした自己の行為が、審判に対する侮辱的行為であると大会主催者からみなされた場合、試合結果の無効、除名や試合出場停止処分などの処罰を受けても異議を申し立てません。
 - 四、私は、「テコンドーは、格闘技であり安全ではない」という事実を認識し、自らの意志により、本大会への参加を希望します。それゆえ、試合において如何なる事故が生じても自己の責任として処理し、本大会主催者ならびに貴大会関係者に対し、異議を申し立てないことを誓います。
 - 五、私は、自己の所属する支部を通じて「スポーツ安全協会 スポーツ安全保険」に加入しております。
 - 六、私は試合で万一、「事故当事者」となった場合、下記の保険内容での処理にあらかじめ同意します。
本大会主催者加入保険（三井海上保険代理店さくら保険と契約）
死亡 1千万、後遺障害（失明など）1千万、入院1日6千円、通院1日4千円
- 上記、誓約し、ここに大会申込書を参加費と添えて提出します。

年 月 日

参加者 住所

(ふりがな)

氏名

印

保護者 住所

氏名

印 *18歳未満、高校生以下必要

所属クラブ名			参加費振込証明添付 *のり付けして下さい
指導者サイン			
現級・段	年齢	歳	
身長	C m	体重 K g	
過去（1年以内）の大会成績			

出場種目（エントリー種目に最小1ヶ所、最大3ヶ所に○をしてください）

一部組手 ①軽量級 ②中量級 ③重量級 ④女子無差別級

二部組手 ①軽量級 ②中量級 ③重量級 ④女子無差別級

三部組手 ①軽量級 ②中量級 ③重量級 ④女子無差別級

四部組手 ①少年部乙低学年 ②少女部乙低学年 ③少年部甲高学年
④少女部甲高学年 ⑤中学生男子軽量級 ⑥中学生男子中量級

蹴武型 ①一部 ②二部 ③小学生低学年以下 ④小学生高学年 ⑤中学生

一部団体戦 ①組手団体戦 ②型団体戦

二部団体戦 ①組手団体戦 ②型団体戦

第3回JTA組手団体戦エントリー選手名簿

大会会長 河 明生殿

一、一部組手団体戦エントリー選手名簿

団体名

氏名 級位・段位 年齢 体重 身長

①先鋒

②中堅

③大将

④補欠

二、二部組手団体戦エントリー選手名簿

団体名

氏名 級位・段位 年齢 体重 身長

①先鋒

②中堅

③大将

④補欠

第3回JTA蹴武型団体戦エントリー選手名簿

大会会長 河 明生殿

一、一部組手蹴武型団体戦エントリー選手名簿（人数分記名）

団体名

氏名	級位・段位	年齢	体重	身長
----	-------	----	----	----

①

②

③

補欠

二、二部蹴武型団体戦エントリー選手名簿（人数分記名）

団体名

氏名	級位・段位	年齢	体重	身長
----	-------	----	----	----

①

②

③

補欠